

(ヒックス)  
**HICSから発信する  
開発教育支援/広報事業について**

今号から「であい」が管内の全小中学校及び短大・大学に対して配布されるようになったことから、改めてHICS（ヒックス：Hokkaido International Center, Sapporo北海道国際センター（札幌）の略称）から発信する教育現場への国際理解教育・開発教育支援及び広報事業についてご紹介します。

HICSでは地域の皆様に対し、国際協力の重要性を認識していただくため、また将来の国際協力の担い手を育成するために、下記のような開発教育支援・広報を行っています。今後ともご理解・ご支援をお願いいたします。

なお、情報については今号「であい」の発刊時期に近いものから紹介しておりますが、JICA HICSホームページで更に詳しい情報についてもご覧いただけます。（<http://www.jica.go.jp/branch/hics/h05/index.html>）

#### 1. サーモンキャンペーン

開発途上国の実情を知っていただき、国際協力の必要性を理解していただくため、JICA職員や帰国した青年海外協力隊員等を講師として学校等に派遣、またはHICSにて講義を行います。

#### 2. 中学生・高校生エッセイコンテスト 国際協力大学生論文コンテスト

高校生・中学生のみなさんから開発途上国や国際協力について考えていることをテーマにエッセイを募集しています。（今年度は6/1～9/13締切）

また、大学（短期大学含む）もしくは大学院（修士・博士課程）に在籍の方を対象に論文コンテストを行っています。（昨年度は10/15～2/28締切）

いずれのコンテストについても応募先は東京ですが、過去の優秀作品集冊子については余部があれば当センターからお渡しできます。

#### 3. 親と子の国際協力教室

国際協力に関心をお持ちの小学校高学年の児童とその父母（親子二人組で、25組程度）をHICSに招待し、半日間で館内案内、海外からの研修員との交流等のプログラムを行います。今年度は6月23日（日）の開催を予定しています。参加希望についてはJICA総務課（TEL011-866-8333）にお問い合わせください。

#### 4. ODA民間モニター

近年、日本のODAは総額で世界第一位の規模にあり、150を超える国と地域に対し実施され、日本の国際社会に対する貢献の重要な柱のひとつになっています。その一方で、ODA事業は、その実施現場のほとんどが開発途上国であるために、国民の皆様幅広くその実態が見えにくいという面があります。そこで、平成11年度より、国民の皆様方にご自身の目で海外のODAの現場を直接視察していただき、その声を今後のODA事業の改善に役立てるべく外務省による「ODA民間モニター制度」が発足しました。募集に係る申込書・資料の請求及び応募の窓口については当センターで例年6月に行います。詳細についてはホームページでお知らせするほか、各新聞紙上でも広告を行う予定です。

#### 5. 環境広場さっぽろ (旧称エコアクションさっぽろ)

札幌市が中心になって開催される本イベントにHICSは共催団体の一つとして参加し、展示ブースを設営して多くの皆様にJICA事業を紹介し理解を深めて頂いております。本年度は8月2～4日にアクセスさっぽろで開催予定です。

#### 6. 高校生国際協力実体験プログラム

国際協力に興味がある高校生の皆さんに対し、生徒4名及び引率教員1名を1グループとして、夏休み期間に2泊3日でHICSに宿泊し、各校の取り組んでいる国際協力について発表したり、JICAが実施している研修員受入事業を中心とした国内の国際協力現場を紹介することにより、国際協力に対する理解を深めていただきます。参加に係る経費（学校からHICSまでの交通費・HICS宿泊費）はJICAで負担します。

募集については例年6～7月に北海道教育庁生涯学習振興課及び北海道国際教育



高校生国際協力実体験プログラムでのひとこま産業技術総合研究所で石炭技術を学ぶ研修員を訪問

研究協議会を通じて行うほかホームページでもお知らせします。

#### 7. 開発教育指導者研修

参加型ワークショップの紹介等を通して、教員の方や地域のNGO団体等に所属し開発教育・国際理解教育を推進する立場にある方々に対して研修会を開催。学校現場等における開発教育の担い手育成、市民の途上国に対する